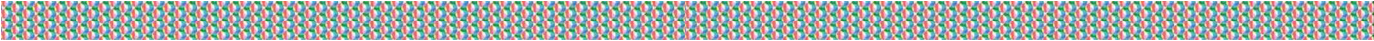




東京都写真美術館が
夜毎くりひろげる
映像をめぐる
ライブ・イベント！

はじめての試みに、
しかも入場無料なんて
もう行くしかない。

あっというまの7日間、
お見逃しなく！！





featuring:

足立智美
有馬純寿
飯村隆彦
生西康典
石田尚志
小田桐昭
掛川康典
狩野志歩
角田俊也
豊嶋康子
西村智弘
音男
山川冬樹
山本精一
渡邊ゆりひと

ADACHI TOMOMI
ARIMA SUMIHISA
IIMURA TAKAHIKO
IKUNISHI YASUNORI
ISHIDA TAKASHI
ODAGIRI AKIRA
KAKEGAWA YASUNORI
KANO SHIHO
TSUNODA TOSHIYA
TOYOSHIMA YASUKO
NISHIMURA TOMOHIRO
NEO
YAMAKAWA FUYUKI
YAMAMOTO SEIICHI
WATANABE YURIHITO

2008.2.21(木) - 24(日)・28(木) - 3.1(土)

東京都写真美術館 地下1階 展示室 入場無料

<開催にあたって>

東京都写真美術館(恵比寿)は、日本唯一の写真と映像の総合的な専門美術館として、1995年の開館以来さまざまな展覧会を企画・開催してまいりました。地下1階展示室では主に映像に関する展覧会を開催し、映像の歴史から、CG、アニメーション、ゲーム、オタク文化など、さまざまなジャンルの作品をご紹介してまいりました。

この度、当館では全く新しい試みとして、夜の美術館を会場として、7夜にわたりさまざまなライブ・パフォーマンスを行います。東京都写真美術館ならではの出演者と企画で、熱く揺れる7夜をお楽しみください。

さまざまな角度から「映像」を考え、実験を楽しむための新企画！

7夜にわたり多彩なゲストを迎え、上映、展示、ライブ・パフォーマンス、レクチャーを開催します

<「7夜」の7大ポイント>

- ① 夜の写真美術館展示室が会場です
- ② 美術館初！7夜を通して展示室がライブ・スペースに変わります
- ③ 国際的にも活躍する選りすぐりのゲストたち。ふだん美術展では見られないアーティストも多数登場
- ④ 実験的なセッションや、新作パフォーマンスなどを、生な臨場感でお楽しみいただけます
- ⑤ 映像と身体・音・空間・時間…映像をめぐる先鋭的なプログラムが日替わりで開催されます
- ⑥ なんと入場無料です！
- ⑦ この展覧会を機に、写真美術館の映像企画展が一新されます

<出演者と内容>

★第1夜★ 2月21日(木) 開場18:30 開演19:00

「反復する壁」(上映+パフォーマンス+インスタレーション)

ゲスト: 足立智美、石田尚志

即興演奏、楽器の創作、インスタレーション、現代音楽の演奏など多岐にわたり活躍する異才と、有機的な線描をコマ撮りの手法で「動く絵」へと鮮やかに変貌させる気鋭の画家・映像作家の競演。国際的に活躍する要注目の実力派2人が、「壁」をキーワードにセッションする。



図版1



図版2

★第2夜★ 2月22日(金) 開場18:30 開演19:00

「広告と／の映像」(レクチャー+上映)

ゲスト: 小田桐昭 (オグルヴィ・アンド・メイザー・ジャパン(株)取締役共同会長、チーフ・クリエイティブ・オフィサー)

日本における広告映像の歴史を、その黎明期からともに歩いてきた男が、豊富な作例とともに語る創造の現場の過去・現在・そして未来。



★第3夜★ 2月23日(土) 開場17:30 開演18:00

「映像の知覚」(上映+トーク+インスタレーション)

ゲスト: 飯村隆彦、豊嶋康子

飯村の代表作に、豊嶋が介入! ? 方法こそ違いながらも、ともに「私」をめぐる知覚の虚実を分析的に問題化してきた2人の初セッションを介して、映像の知覚の構造を探究する。



図版3

★第4夜★ 2月24日(日) 開場17:30 開演18:00

「フリッカー・ナイト」(上映+トーク)

ゲスト: 西村智弘

明滅する光と闇、そしてその彼方にのみ生まれ出る像。「フリッカー」とは、光や像の明滅によって生み出される視覚効果のこと。知覚への直接的な刺激を与える手段としても多用されたが、1997年のいわゆるポケモン事件以来タブー視されてもいる。今回は、フリッカーの代名詞的な作品から、隠れたフリッカー作品までを特集上映。1960年代の実験映画からその表現の歴史と背景をたどります。挑戦的で希少な機会、貴方はどこまで見つめ続けることができるか?



★第5夜★ 2月28日(木) 開場18:30 開演19:00

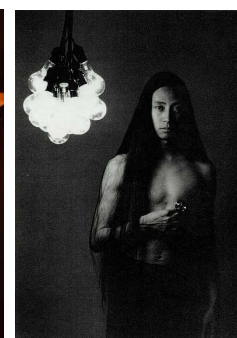
「the Voice-over ~ 内なる映像」(パフォーマンス+インスタレーション)

ゲスト: 山川冬樹

1997年制作、2006年に改訂版として再発表した映像インスタレーション<<the Voice-over>>は、著名なニュースキャスターだった父親の「声」を主題に、音から心に映る像を再構築(再創造)する試み。写美バージョンでの待望の再演に加え、2007年ヴェニス・ビエンナーレでも絶賛を浴びた圧巻のヴォイス・パフォーマンスもあわせて行う。



図版4



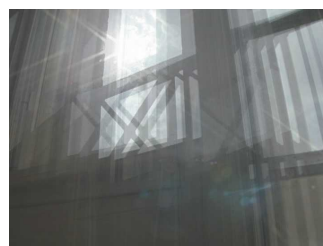
図版5

★第6夜★ 2月29日(金) 開場18:30 開演19:00

「不在の映像・音の果て」(ライブ・インスタレーション)

ゲスト: 狩野志歩、渡邊ゆりひと、有馬純寿

表現を抑制した還元的なスタイルで、映像なるものの構造と詩性を可視化する気鋭の映像作家と、ヴォイス・インプロヴィゼーションとリアルタイム・コンポジションの旗手。音と映像がせめぎあう静謐かつ官能的なライブ・インスタレーション。



図版6

★第7夜★ 3月1日(土) 開場17:30 開演18:00

「眼孔、斜に射す太陽」(映像・音響×ライブ演奏)

ゲスト: 生西康典、掛川康典(映像/音響編集) / 山本精一(ギター) / 角田俊也、音男(音源提供)

次々と核心を突くライブ・イベントを企画・プロデュースしてきた生西が、盟友掛川とともに手がけるオリジナル映像、角田・音男がそれぞれに現実から切り取る「音」、さらに山本精一による神域とも言われるギター演奏。映像、音、そして音楽が、対決・共鳴するポリフォニックな視聴覚体験へと誘います。



展示室が熱く揺れる7日間!

映像をめぐる実験パフォーマンスの数々にどうぞご期待ください!

<開催概要>

イベント名 映像をめぐる7夜
会 場 東京都写真美術館 地下1F展示室
◎JR 恵比寿駅東口改札より徒歩7分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分
◎当館には専用の駐車場はありません。お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。
主 催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館
開催期間 2008年2月21日(木)～2月24日(日) および2月28日(木)～3月1日(土)
開演時間 プログラムによって異なりますので、前項をご覧ください
入場料 入場無料

- ◎イベント開催当日10:00より1階受付カウンターにて入場整理券を発行いたします(先着定員制)。整理券のはけ具合など、最新状況のご確認は、東京都写真美術館 03-3280-0099 までお問い合わせください。
◎地下1F ロビーゾーンの展示は、各日10:00から開場時間までご覧いただけます。
◎各プログラムのタイトルおよび内容等は予定につき、都合により変更することがあります。
◎各プログラムの最新情報等は、東京都写真美術館ホームページ[<http://www.syabi.com>]
および携帯サイト <http://syabim.com> でご確認ください。



「映像をめぐる7夜」携帯サイト <http://syabim.com>

<お問い合わせ先>

東京都写真美術館

東京都目黒区三田 1-13-3 (恵比寿ガーデンプレイス内) TEL 03-3280-0099 URL <http://www.syabi.com>

■展覧会担当

岡村 恵子 (おかむら けいこ)

E-mail: k.okamura@syabi.com 電話 03-3280-0031 FAX 03-3280-0033

■広報担当

久代 明子 (くしろ あきこ) / 島津 彰子 (しまづ あきこ)

E-mail: a.kushiro@syabi.com / a.shimazu@syabi.com 電話 03-3280-0034 FAX 03-3280-0033

※プレス掲載用図版について

このプレスリリースに掲載されている図版1～6を、プレス掲載用にデータにてご用意しております。
ご希望の際は、上記広報担当までお知らせください。

図版1: 足立智美 パフォーマンス風景

図版2: 石田尚志 パフォーマンス風景

図版3: 飯村隆彦 パフォーマンス風景 (ビデオ・トーキング: 背から背へ) ビクター・ビデオセンター (東京)、1982 年より

図版4: 山川冬樹 パフォーマンス風景 (撮影: 小原大貴)

図版5: 山川冬樹 (撮影: 高木由利子)

図版6: 狩野志歩 《アトリエ》(ビデオ、2006 年 / 東京都写真美術館蔵) より

(ご注意) プレス図版はすべて参考図版です。実際のイベントとは異なりますのでご了承ください

プレス特別ご招待 申込書

「映像をめぐる7夜」に入場をご希望の方は、下記にご記入の上、FAXにてお申し込みください。

返信先FAX: 03 (3280) 0033

申込締切日: 2008年2月6日 (水)

御社名

御名前

御住所

電話番号

FAX番号

メールアドレス

入場整理券のお送り先 (どちらかに○をおつけください)

FAX

メール

■ご入場希望日に○と、参加人数をお書きください (※複数選択可)

※各日2名様までご入場いただけます。

希望日 参加人数

() ()	2月21日 (木)	開場 18:30	開演 19:00	第1夜「反復する壁」
() ()	2月22日 (金)	開場 18:30	開演 19:00	第2夜「広告と／の映像」
() ()	2月23日 (土)	開場 17:30	開演 18:00	第3夜「映像の知覚」
() ()	2月24日 (日)	開場 17:30	開演 18:00	第4夜「フリッカー・ナイト」
() ()	2月28日 (木)	開場 18:30	開演 19:00	第5夜「the Voice-over～内なる映像」
() ()	2月29日 (金)	開場 18:30	開演 19:00	第6夜「不在の映像・音の果て」
() ()	3月1日 (土)	開場 17:30	開演 18:00	第7夜「眼孔、斜に射す太陽」

<ご注意>

- ①お申し込みをいただいた方に、FAXまたはメール (上記欄にご希望先を○してください) にて「プレス専用入場整理券」をお送りいたします。(2008年2月15日までに届かない場合はご一報ください)
- ②各日、開場時間の15分前までに、①の「プレス専用入場整理券」をプレス受付までご持参ください
- ③当日キャンセルをされる場合は、下記までご一報いただきますようお願い致します

<お問い合わせ先>

東京都写真美術館 事業企画課普及係 電話03-3280-0034 久代(くしろ)、島津(しまづ)